

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

第3回 (平成20年度) 通常総会

報告書

2008

平成20年 6月25日 (水)

於：東京ミッドタウン カンファレンスルーム7



第3回(平成20年度) 通常総会 議案

■ 第1号議案 平成19年度事業報告承認の件

藤原洋二副理事長兼専務理事より報告され、審議の結果、承認された。

■ 第2号議案 平成19年度収支決算報告および監査報告承認の件

滝川和秀理事より報告され、審議の結果、承認された。

小泉久夫監事より報告され、審議の結果、承認された。

■ 第3号議案 平成20年度事業計画案承認の件

藤原洋二副理事長兼専務理事より提案され、審議の結果、原案通り可決・承認された。

■ 第4号議案 平成20年度収支予算案承認の件

滝川和秀理事より提案され、審議の結果、原案通り可決・承認された。

■ 第5号議案 監事選任の件

仲宗根副理事長より提案され、審議の結果、原案通り可決・承認された。

議	長：鈴木政信 理事
副 議	長：新岡潤子 理事
議事録署名人：	萩原直見 理事
	関口健次 理事
司	会：木村俊弥 事務局長

平成19年度 事業報告

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

NPO法人として新たなスタートを切った平成18年度に引き続き、さらに積極的な協会活動を展開した平成19年度は、大いに実りある事業年度となりました。

ネイル文化の認知度、業界全体の市場規模ともに昨年を大きく上回り、日本のネイル業界は、国内はもとより国際的にも注目される産業に成長しつつあります。

当協会は、事務局体系を整備しつつ、運営母体である7委員会制（D7）を要とした協会活動体制が的確に機能し、それぞれの役割を全うしながら年度事業計画のすべてにおいて充分なる成果を上げることが出来ました。

さらに、当協会および業界全体にとって意義深いのは、我々が携わるこの「ネイル産業」を、日本標準産業分類のひとつとして認めてもらうという旗印のもと、年間を通じてさまざまな企画立案や施策を講じ、その大きな目標に向かっての明確な第一歩を踏み出したということです。

平成19年度に行った主な事業は、次の通りです。

1. 「ネイルエキスポ」に代表される協会主催のイベント活動において、その内容の抜本的な改革を行い、広く一般に向けてのネイル普及に努めました。その結果、各会場共に来場者数・協賛企業数、そしてメディアの反応も大幅に更新されました。また、盛岡・鹿児島などの地区セミナーを開催し、地域におけるネイル文化の活性化に寄与するとともに、その関心の高さを改めて認識しました。
2. 「JNAネイリスト技能検定試験」においては、適正な技術者養成を目的とした「教育・制度・規定の改革」を行い、制度の一部を改訂、さらに適正な技術習得のインフラを整備するため、ネイル教育に関する映像資料を作成しました。さらに、「認定ネイル専門校」の生徒で規定のカリキュラムを履修した個人会員については、ネイリスト技能検定試験3級が免除になる制度が始まり、結果、個人会員は倍増するに至りました。
3. 毎年11月を「ネイル月間」と定め、ネイル産業全体を広く社会にアピールする月間といたしました。初年度は、ネイルエキスポでクライマックスを迎えるような施策を行い、ネイルサロンを中心とした活性化に努めました。
4. 協会ホームページに「ネイル・ポータルサイト」を目指す別バージョンを企画し、協会に新たな魅力を創造させ、イメージアップを図ると共に、会員サービス向上、新規加入増員を目標として製作に着手しました。

以上、NPO法人元年の昨年度と比べ、より積極的かつ横断的にネイル産業の適正化へ向けての施策を実施し、安定した協会運営を実践した年度となりました。

■各委員会 活動報告

総務委員会

1. 認定校制度に関する規程案の策定
2. 法人正会員、登録ネイルサロンの新規加入申請の審査業務
3. 部会に関する規程案の策定
4. プロダクツ部会に関する規則案の策定
5. 販売業者登録制度に関する規程案の策定
6. 協会ロゴマーク等の商標登録に関する協議
7. 外部顧問を招聘し、より健全な組織運営に努めた

教育委員会

1. 「ネイリスト技能検定試験」の実施
※従来の春秋試験に加え、平成20年2月には3級追加試験を実施
2. 「認定講師勉強会」(春・秋)の実施
3. 「受験対策セミナー」(春・秋)の実施
4. 「受験対策セミナーデモンストレーター勉強会」(春・秋)の実施
5. 「認定講師資格試験」(平成19年9月)の実施
6. 「講師会」役員選挙(平成19年3月)の実施
7. 「認定校」申請に伴う教育施設視察(平成19年7・8月、平成20年1・2月)の実施

企画委員会

1. ネイル月間(毎年11月を対象)を制定し、関連したキャンペーンを企画。
2. 国際ネイルフォーラムにおける協会提案ステージの企画。
3. 協会イメージ向上のための各種ツール制作の企画。

広報委員会

1. ホームページのデザイン・機能の改訂及び更新情報の拡充
2. 会報誌「Natiful」の掲載情報の充実及び配布数の拡大
3. アドバイザリースタッフの増加による広報機能の強化
4. 検定試験告知用(大阪・東京)の電車広告の掲載
5. 各種ネイル専門誌を中心とした協会広告の掲載
6. 各種ニュースリリース配信による協会広報の充実

国際委員会

1. 国際ネイルフォーラム2007を開催(2007年5月8日)
2. 協会オフィシャル海外研修ツアーを実施(2007年6月2~4日:米国ラスベガス)
3. アジアネイルフェスティバルイン大阪2007にて「第2回ASIA CUP」を開催
4. 第1回中華台北国際美甲大会を後援(2007年8月4~5日)
5. インターナショナルネイルエキスポ2007にて「第2回世界ネイリスト選手権」を開催

財務委員会

1. 委員会別予算管理
2. D7会議における財務諸表の開示
3. 各種精算の適切な処理と合理化
4. 経費削減・監視

組織委員会

1. 委員を増員し、組織の再編成を行った。
2. 盛岡・鹿児島で「地区セミナー」を開催し、正しい技術、知識の普及を図り新規会員獲得に努めた。
3. 各地区でのメディア露出を積極的に行った。
4. 会員サービスの向上に努めた。

■平成19年度 主な事業活動

会議

通常総会

平成19年6月27日(水) 東京ミッドタウンカンファレンス「ルーム7」

定例理事会

平成19年5月16日(水)、7月18日(水)、9月12日(水)、11月9日(金)

平成20年1月16日(水)、3月12日(水)

評議員会

平成19年5月16日(水)、11月9日(金)

常任委員会 委員長会議 (D7会議)

平成19年4月18日(水)、6月20日(水)、10月17日(水)

12月19日(水)、平成20年2月20日(水)

各委員会

＜総務委員会＞ 平成19年6月6日(水)、12月3日(月)、2月18日(月)

プロダクツ振興部会：平成19年5月9日(水)、7月7日(土) 11月26日(月)

＜教育委員会＞

常任本部認定講師会：平成19年4月18日(水)、5月23日(水)

平成20年1月16日(水)、3月3日(月)

講師会関連

新認定講師(第18期)勉強会 平成19年4月9日(月)

認定講師勉強会(秋期) 平成19年8月20日(月)～23日(木)

デモンストレーター勉強会 平成19年8月30日(木)

デモンストレーター勉強会 平成20年2月21日(木)

認定講師勉強会(春期) 平成20年2月25日(月)～28日(木)

＜企画委員会＞ 平成19年6月13日(水)、9月5日(水)、平成20年3月5日(水)

＜国際委員会＞ 平成19年6月1日(金)～6日(水) ラスベガス研修ツアー

＜広報委員会＞ 平成20年1月23日(水)(企画・広報会議)

＜組織委員会＞ 6月14日(木)(正副委員長会議)、10月26日(金)

ネイリスト技能検定試験

第21回ネイリスト技能検定試験

平成19年4月14日(土) 2級 平成19年4月15日(日) 1級・3級

第22回 JNAネイリスト技能検定試験

平成19年10月13日(土) 2級 平成19年10月14日(日) 1級・3級

ネイリスト技能検定試験 3級追加試験

平成20年2月3日(日)

検定対策セミナー

秋期検定対策セミナー 平成19年9月6日(木)～9月29日(土)(全国18会場)

春期検定対策セミナー 平成20年3月12日(水)～4月5日(土)(全国18会場)

認定講師資格試験

第19期 認定講師資格試験

平成19年9月10日(月)

会場：天満研修センター（大阪）

主催イベント

2007国際ネイルフォーラム 平成19年5月8日(火) 会場：東京ビッグサイト「東3ホール」メインステージ

ASIA NAIL FESTIVAL IN 大阪 2007 平成19年7月8日(日)・9日(月) 会場：インテックス大阪 2号館

インターナショナルネイルエキスポ2007 平成19年11月26日(月)・27日(火) 会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

JNA地区セミナー in 盛岡 平成20年2月16日(土) 会場：北日本ヘア・スタイリストカレッジ

JNA地区セミナー in 鹿児島 平成20年2月23日(土) 会場：タラビューティ専門学校

後援イベント

アメリカンネイルカップ2007 平成19年5月26日(土) 会場：大田区産業プラザPiO

International Nail Competition in 台湾 平成19年8月4日(土)・5日(日) 会場：台湾トレードセンター

ネイル・オリン・ピック in 京都 平成19年9月18日(火) 会場：京都市勧業館

TOKYO BEAUTY CONGRESS 平成19年10月23日(火) 会場：東京ビッグサイト 西4ホール

クリスタルカップ 平成20年1月20日(日) 会場：有明TFTホール

日本エステティック協会 35周年大会 平成20年3月26日(水) 会場：ホテルパシフィック東京

その他の活動

平成19年7月25日(水) ジャーナル懇談会

平成19年10月19日(水) ネイルエキスポ記者会見

平成19年5月20日(日)・21日(月) イベント企画合宿

平成20年1月16日(水) 平成20年新年会

平成20年3月16日(日)・17日(月) イベント企画合宿

会報誌「Natiful」発行

平成19年5月1日、7月1日、9月1日、11月1日

平成20年1月1日、3月1日

平成20年3月末日現在の登録会員数

- 個人正会員 2,094名
- 個人一般会員 3,596名
- 法人正会員 321社
- 法人賛助会員 28社
- 認定校 276校
 - (内訳) 認定ネイル専門学校 117校
 - 認定理容美容養成学校 132校
 - 認定ネイル併設校 27校

平成19年度 収支決算報告および監査報告

■平成19年度 収支計算書 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

支 出 の 部			収 入 の 部		
項 目	金 額	小 計	項 目	金 額	小 計
[事業費]		600,914,449	[入会金収入]		21,675,000
会報編集費	19,711,435		法人会員	5,700,000	
開催費	24,741,729		個人会員	3,570,000	
講師料	44,295,867		認定校特別入会金	9,300,000	
会場費	107,378,682		認定講師特別入会金	3,105,000	
印刷製本費	63,535,595		[会費収入]		78,597,000
保険料	396,550		法人会員	39,870,000	
検定運営費	76,752,854		個人会員	38,727,000	
イベント運営費	108,543,520		[事業収入]		659,916,368
制作委託費	18,258,245		教材販売収入	117,293,916	
システム委託費	28,240,309		検定料収入	342,352,840	
広告宣伝費	23,602,802		講習会収入	17,086,500	
接待交際費	4,110,129		広告掲載料収入	28,635,750	
旅費交通費	55,336,380		コンテスト収入	41,074,500	
通信費	18,505,002		入場料収入	6,045,728	
備品消耗品費	3,127,034		出展料収入	100,455,000	
事務用消耗品費	1,187,270		講師派遣料	244,634	
支払手数料	341,304		参加料	4,002,500	
顧問料	2,099,500		登録料	2,725,000	
会議費	442,903		[雑収入]		3,926,183
雑費	307,339		受取利息	757,441	
[管理費]		99,992,400	その他	3,168,742	
人件費	57,601,792				
広告宣伝費	2,523,465				
接待交際費	1,040,312				
旅費交通費	377,390				
通信費	6,924,121				
備品消耗品費	793,978				
事務用消耗品費	4,280,881				
顧問料	5,000,000				
支払手数料	1,164,510				
水道光熱費	530,666				
地代家賃	13,695,185				
保険料	273,000				
会議費	205,220				
租税公課	155,000				
リース料	1,130,745				
減価償却費	3,614,781				
雑費	103,473				
固定資産除売却損	356,404				
法人税、住民税及び事業税	221,477				
当期支出合計		700,906,849	当期収入合計		764,114,551
[剰余金]		271,530,438	[繰越金]		208,322,736
前期繰越正味財産額	208,322,736		前期繰越正味財産額	208,322,736	
本年度正味財産増加額	63,207,702				
合 計		972,437,287	合 計		972,437,287

■平成19年度 貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	内 訳	金 額	科 目	内 訳	金 額
現金		537,193	未払金		21,396,186
普通預金		127,913,198		受験対策セミナー会場費	950,000
	りそな銀行・池袋支店	6,168,805		受験対策セミナー講師代	2,846,902
	三菱東京UFJ銀行・赤坂見附支店	119,488,046		その他	17,599,284
	三井住友銀行・赤坂支店	1,752,161	未払法人税等	確定申告分	70,000
	みずほ銀行・赤坂支店	504,186	前受金		186,335,500
郵便振替	ゆうちょ銀行	142,959,635		平成20年4月実施検定料	148,858,000
定期預金		115,000,000		平成20年度会費	37,215,000
	東京三菱UFJ銀行・赤坂見附支店	110,000,000		その他	262,500
	ゆうちょ銀行	5,000,000	預り金		326,770
未収金		31,682,946		源泉所得税・住民税	322,656
	教材販売未収金	29,493,696		その他	4,114
	会報広告料未収金	1,517,250			
	その他	672,000			
前払費用		31,057,097		負債合計	208,128,456
	東京ビッグサイト(検定会場)	12,209,400			
	(株)エフエフビー(検定会場)	4,200,000			
	その他	14,647,697			
貸倒引当金		△ 180,000			
棚卸資産		7,058,126			
	販売用図書ほか	7,058,126			
有形固定資産		5,837,751			
	内部造作	4,814,250			
	器具・備品	4,149,118			
	減価償却累計額	△ 3,125,617			
商標権	商標デザイン料	314,738			
ソフトウェア		6,612,610			
	ホームページ作成費用	3,698,860	正味財産		271,530,438
	会員管理システム	2,913,750		前期繰越正味財産額	208,322,736
電話加入権		145,600		本年度正味財産増加額	63,207,702
差入保証金	事務局事務所保証金	10,720,000			
資産合計		479,658,894		負債及び正味財産合計	479,658,894

当期剰余金 271,530,438円は、全額次期繰越剰余金とする。

以上のとおり報告します。

平成20年5月14日(水) 理事長：北村 晋 (印) 財務委員長：滝川 和秀 (印)

厳正な監査の結果、上記決算が正確であることを認めます。

平成20年5月14日(水) 監事：小泉 久夫 (印)

平成20年度 事業計画案

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

平成20年度は、協会スタンダード事業のレベルアップ継続と共に、平成22年に迎える「協会設立25周年」へ向けての「3カ年計画」の初年度と位置づけ、中期的な視野に基づいた基盤造りと、目標を見据えた緻細な戦略的な事業活動を行います。

中期の目標として第一に、より公益性の高い「公益法人認定」を目指します。第二には、ネイル産業の「日本標準産業分類化」を目指します。

この二つの目標を達成するためには、適正な技術習得を推進するための「教育・制度・規定」の整備・拡充や、適正なサービス提供を推進するための企画・広報・プロモーション活動など、ネイル産業全体の文化啓蒙および健全化を促す活動はもちろん、新たな戦略的な活動が必要となります。

まずは産業規模の市場調査を行い、協会主幹の「ネイル白書（仮称）」を策定して、業界全体を俯瞰的・主体的にしっかりと把握し、実態的な諸問題等に対応し得るインフラ整備と、法律や消費者対応などの「業界基盤」、そして資格やサービスなどの「統一基準」づくりを主導的に進めていきます。

平行して、行政への働きかけやパイプ作りをしていくことで、来るべく公益法人化に向けてのメインフレームを構築していくことが、主たる二つの戦略的活動となります。

以下、具体的な事業活動項目です。

1) 公益法人化へ向けての活動

当協会は2006年（平成18年）にNPO法人（特定非営利活動法人）として法人格を取得し活動を続けていますが、「公益法人認定法」の改正（平成20年12月1日付）により主務官庁の裁量権が排除されるという制度変更を活用して、より公益性が高い「公益法人」への移行を目指して推進していきます。中心的な事業である「ネイリスト技能検定試験」（総受験者数実績=23万人）の社会的信用度をより高め、公益性の高い試験とするためには不可欠であると考えます。

<公益法人化へのSTEP>

①=現NPO法人の活動を存続させたまま「一般財団法人」を設立・登記する。<2008年12月予定>

②=登記完了後、行政庁に公益認定申請を行う。<2008年12月～09年1月予定>

③=公益認定を受けた後「公益財団法人」に変更登記する。<2009年度>

* 「一般財団法人」設立にあたり、現NPO法人より設立時財産を拠出する。（最低300万円）

これらを実行するために、特別のプロジェクトチームを設置して推進します。

2) 産業規模を客観的に示すための市場調査

ネイル産業は、総務省統計局が作成する日本標準産業分類には独立した産業として記載されていません。記載されることが社会認知への証とも言えますが、次回改定を視野に入れ、信用度の高い調査会社に依頼してネイル産業の実態調査を実施します。そのために、法人会員各社の全面的な協力をお願いして参ります。

3) 行政への渉外活動

経済産業省を主体に、文部科学省・厚生労働省などへ働きかけ、ネイル産業の認知に努めます。

4) エステティック業界との連携

エステティック産業は、ネイル産業よりも先進的な活動をしており、美容関連分野における先輩産業と言えます。経済産業省のガイドラインに沿った業界統一基準の策定などの動きも始まっており、指導を受けながら将来に渡って友好的な関係を続けていくための具体的方策を検討します。

5) ネイル産業の一元化

協会活動に参画していないネイル業界関係者への入会促進を強化すると共に、連携機関の設立を

模索します。対外的な渉外活動の強化と共に、ネイル産業自体を包括し、行政からの窓口としての機能・地位を確立するために、ネイル産業で最大の業界団体である当協会が中心となり、積極的な訴求活動を行います。

6) 関連産業との連携

メイクアップ、リフレクソロジー、アロマ、スパなど様々な美容関連産業との連絡機関を設立し主体的に活動します。ネイル産業の将来に向けて、積極的な情報交換を行い、時代の変化を敏感に収集して発信していきます。

以上が、平成20年度から新たに加わる事業計画の概要です。

■各委員会 活動案

総務委員会

1. 会員サービスの向上を図るための施策を立案する。
2. 協会運営を円滑に遂行すべく、新たな規程等を目的に合わせ立案する。
3. 会員数拡充のための施策を立案する。
4. 「ネイル産業適正化推進プロジェクトチーム」を発足し、公益法人化について協議を行う。
5. 法人正会員、登録ネイルサロンの新規加入申請の審査業務を行う。

教育委員会

1. 効率的な組織運営
教育委員会傘下の部会活動の充実と新体制でスタートする「講師会」の円滑な運営と充実した活動を推進する。
2. 認定講師の技術・知識の向上
約1100名の大組織となったJNA認定講師のさらなる技術・知識の向上を図るために充実した勉強会・技術セミナーを開催していく。
また、ME（マスターエデュケーター）が中心となって、正しいネイルの技術教育を施し、次世代へと続く技術の普及と開発を推進していく。
3. テキスト・DVD（検定試験・認定講師資格試験）の普及
一昨年に発刊したオフィシャルテキスト「JNAテクニカルシステムBASIC」のさらなる普及・定着と新たに検定試験・認定講師試験の内容をコンパクトに纏めたDVDを7月に発売し、正しいネイル技術の普及に努めていく。

企画委員会

1. ネイル月間に関連したキャンペーンをネイル業界全体を通して展開する。
2. ネイルの更なる普及および新規会員獲得のための施策を企画する。
3. 協会イメージ向上のための各種ツールの制作を企画する。

広報委員会

1. ホームページ機能の拡張と戦略的な運用
ログ解析による的確な情報アップをはじめ、メールマガジンの発行やデータベースを構築する
2. 会報誌『Natiful』の更なる充実
デザインや掲載内容を中心に、更なる会員満足度を追求し、中身を拡充していく

3. メディア戦略の転換と訴求イメージの変更

従来の媒体・内容を見直し、新しい切り口での新規媒体への出稿を通じて、新たなノウハウの蓄積と新規会員を獲得する

4. マスコミ戦略の導入を検証

テレビ・ラジオなどのマスメディアでの露出により協会の存在感を示し、会員の更なるロイヤリティ向上と、市場でのニーズ喚起を促す

5. 【nail.jp】（ネイルジャーピー）の開設

既存のホームページとは別に弊会が企画、運営するネイル専門ポータルサイトを開設する。弊会法人会員及び登録ネイルサロン等が個別に情報を発信することでネイルのファン層の裾野を広げる。

国際委員会

1. 会員サービス向上を見据えた協会オフィシャル海外研修ツアーの拡充
2. 海外ネイル競技会における邦人選手向け現地サポート体制の強化
3. 海外ネイルイベントの発掘と紹介
4. 海外ネイルイベントへの積極的な賛助
5. 海外ネイル産業界の現状の調査
6. INIF（国際ネイル連盟）の活動の支援
7. 「ASIA CUP」「世界選手権」など国際的なネイル競技会の開催

財務委員会

1. 委員会別予算管理
2. D7会議における財務諸表の開示
3. 各種精算の適切な処理と合理化
4. 経費削減・監視

組織委員会

1. 「地区セミナー」を定期的に行う。
2. 「ネイル月間」に合わせ、地区イベントを実施する。
3. 各地区におけるネイルおよび協会の認知度を向上させる施策を立案する。

■平成20年度 主な事業活動案

平成20年

4月16日(水)	D7会議
4月19日(土)	第23回(08春)技能検定試験2級
4月20日(日)	第23回(08春)技能検定試験1級・3級
5月1日(木)	会報誌「Natiful Vol.71」発行
5月14日(水)	定例理事会・評議員会
5月20日(火)	国際ネイルフォーラム (Beauty World Japan)
6月1日(日)	第20期 認定講師資格試験 (東京・大阪)
6月19日(木)	D7会議
6月20日(金)	第20期新認定講師勉強会 (東京・大阪)
6月25日(水)	平成20年度 通常総会
7月1日(火)	会報誌「Natiful Vol.72」発行
7月13日(日)～14日(月)	Asia Nail Festival In OSAKA 2008
7月23日(水)	定例理事会
8月20日(水)	D7会議
8月25日(月)～28日(木)	認定講師勉強会 (東京2回・大阪2回)
9月1日(月)	会報誌「Natiful Vol.73」発行
9月7日(日)	本部認定講師昇格試験
9月	検定対策セミナー (全国11都市)
9月16日(火)	定例理事会
10月1日(水)	ネイル月間2008 サロンキャンペーン スタート (～11月30日)
10月18日(土)	第24回(08秋)技能検定試験2級
10月19日(日)	第24回(08秋)技能検定試験1級・3級
10月22日(水)	D7会議
11月1日(土)	会報誌「Natiful Vol.74」発行
11月1日(土)	ネイル月間2008スタート
11月5日(水)	定例理事会・評議員会
11月16日(日)～17日(月)	International Nail Expo 2008
12月10日(水)	D7会議

平成21年

1月1日(木)	会報誌「Natiful Vol.75」発行
1月14日(水)	定例理事会／平成21年 新年会
2月18日(水)	D7会議
3月1日(日)	会報誌「Natiful Vol.76」発行
3月11日(水)	定例理事会
3月	検定対策セミナー (全国11都市)

平成20年度 収支予算案

■平成20年度 収支予算案 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

支 出 の 部			収 入 の 部		
項 目	金 額	小 計	項 目	金 額	小 計
[事業費]		742,600,000	[入会金収入]		33,150,000
会報編集費	24,000,000		法人会員	6,500,000	
開催費	30,000,000		個人会員	7,000,000	
講師料	61,000,000		認定校認定料	10,650,000	
会場費	125,000,000		認定講師認定料	9,000,000	
印刷製本費	82,600,000				
保険料	1,500,000		[会費収入]		107,500,000
検定運営費	80,000,000		法人会員	50,000,000	
イベント運営費	120,000,000		個人会員	57,500,000	
制作委託費	25,000,000				
システム委託費	35,000,000		[事業収入]		769,350,000
広告宣伝費	27,900,000		教材販売収入	151,300,000	
接待交際費	4,500,000		検定料収入	369,850,000	
渉外活動費	2,500,000		講習会収入	18,000,000	
旅費交通費	75,000,000		広告掲載料収入	37,000,000	
通信費	24,600,000		コンテスト収入	42,000,000	
備品消耗品費	3,500,000		入場料収入	8,000,000	
事務用消耗品費	1,500,000		出展料収入	130,000,000	
支払手数料	400,000		講師派遣料	1,200,000	
顧問料	2,000,000		参加料	9,000,000	
財団法人設立関連費	5,500,000		登録料	3,000,000	
会議費	600,000				
調査費	10,000,000		[雑収入]		4,000,000
雑費	500,000		受取利息	100,000	
[管理費]		121,300,000	その他	3,900,000	
人件費	63,000,000				
広告宣伝費	2,550,000				
接待交際費	1,100,000				
旅費交通費	450,000				
通信費	7,200,000				
備品消耗品費	1,000,000				
事務用消耗品費	4,500,000				
修繕費	100,000				
顧問料	5,000,000				
支払手数料	1,200,000				
水道光熱費	550,000				
地代家賃	13,700,000				
保険料	300,000				
会議費	200,000				
租税公課	6,000,000				
リース料	1,200,000				
減価償却費	3,600,000				
雑費	150,000				
法人税、住民税及び事業税	9,500,000				
当期支出合計		863,900,000	当期収入合計		914,000,000
[剰余金]		321,630,438	[繰越金]		271,530,438
前期繰越正味財産額	271,530,438		前期繰越正味財産額	271,530,438	
本年度正味財産増加額	50,100,000				
支出の部 合計		1,185,530,438	収入の部 合計		1,185,530,438

監事選任の件

平成20年5月14日(水)開催の定例理事会において、以下の2名が監事候補として選出されました。

【監事候補】 小泉久夫 井手勝輔

事務局

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-10-2 永田町TBRビル706

Phone.03-3500-1580 Facsimile.03-3500-1608

<http://www.nail.or.jp>



NPO
法人 日本ネイリスト協会
Japan Nailist Association
Non-Profit Organization